

たきょう 毅

町政レポート 2024.07

21



発行：たきょう毅後援会

連絡先：〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

6月議会報告 会期=令和6年6月4日~21日

幸田町議会公式
YouTubeチャンネル→



令和6年第2回定例会は、会期18日間で開催されました。
報告案件3件、承認案件2件、単行議案6件、補正予算関係1件(9553.3万円)に加え、最終日に上程された議員提出議案1件の合計13議案を、原案通り承認・可決しました。
私は一般質問に登壇し、住民目線で皆さんからの「声」を届け、実現に向けた提案および発言をしました。

一般会計補正予算 (主なもの)

歳入

【国費 3,255万円・県費 1,450万円・基金繰入 4,247万円、町債 600万円】

歳出

- 【民生費：5535.4万円】
※デジタル田園都市国家構想交付金を活用
保育園ICTシステム導入業務委託料
・QRコードを活用した登園管理やお知らせの電子化など
- 【社会教育費：714.5万円】
※デジタル田園都市国家構想交付金を活用
座席予約システム構築業務委託料
・図書館学習スペースの予約システムを構築する
- 【民生費：512.6万円】
※地方債と一般財源
芦谷ゲートボール場上屋テント撤去工事請負費
・老朽化で腐食した上屋テントを撤去する



第7次総合計画策定特別委員会の設置

総合計画は、次の10年間の町の道しるべとなるもの。
第7次幸田町総合計画を策定するための調査、審査を行います。
●委員会の構成：議長を除く議員15人(右のQRコードを読み取り)
※6つ目の役割も、働く者の視点で精一杯取り組んでまいります。



一般質問①

「インスタントハウス備蓄の考え」 ※一般質問動画→



私の思い

能登半島地震での教訓が本町施策へ生かされることが望まれている。

現 状

住民が緊急時にツールを使いこなせるか、避難所の運営長期化、正しい情報を共有することなど、課題と考える。

一般質問

ファーストミッションボックスの定期訓練、避難所収容可能数を超える場合の対応、避難所での想定、インスタントハウス備蓄の考え。

回 答

総務部長▼運用上の課題、改善点など進化させ、次年度以降も継続的に訓練を実施。収容可能だが想定外に備え、町内企業と協定を結んでいる。避難所開設期間長期化のおそれがある。専門業者施行の課題など、能登半島地震の事例を基に研究する。



能登半島地震の避難施設内

専門業者施行の課題など、能登半島地震の事例を基に研究する

一般質問②

「子ども食堂の公平感ある支援」

私の思い

子育て支援、子ども支援が望まれている。

現 状

ニーズに基づく制度へのブラッシュアップ、適切な支援につなげるための現状把握、公平感ある運営支援など、今後見直しが必要。

一般質問

不妊治療当事者に寄り添い最適な施策の検討、ヤングケアラーの適切な支援、子ども食堂の公平感ある支援、

回 答

健康保健担当参事▼支援継続が必要であり研究を継続。
健康福祉部長▼個々に対応し家族を含めたケアラーの負担軽減につなげている。規模に合った新たな補助基準を考え、運営団体の支援を考えたい。



子ども食堂で楽しく調理

子ども食堂に対しては、新たな補助基準を考え、運営団体を支援する

くらしの相談事例

「工業団地内の通勤路交通安全対策」

幸田駅西工業団地内の町道通勤路において、自転車・歩行者の横断する経路が無く、自転車の逆走解消をはじめ、交通弱者に対する交通事故防止対策に苦戦。

現地調査や対策案の検討など、県議と連携することで警察の理解を得られ、横断指導線を新設。特に交通集中する時間帯の交通事故リスク低減を図りました。



地域の困りごと、町政に対する ご意見・ご要望などございましたら
お気軽に「たきょう毅くらしの相談」をご活用ください♪

たきょう毅

検索



<https://takyo-giin-dnwu.com/>

